

## アブダビ首長国がエネルギー庁を設立した背景と目的

戦略研究ユニット  
国際情勢分析第一グループ  
研究主幹 松本 卓

アラブ首長国連邦 (UAE) のアブダビ首長国では、3 月 16 日にカーリーファ首長令を發布し、アブダビ執行評議会 (Abu Dhabi Executive Council : ADEC) のもと、新たにエネルギー庁 (Department of Energy) を設立した。

### ① なぜアブダビ首長国は新たにエネルギー庁を設立したのか？

これまで、アブダビ首長国には同国のエネルギー政策を担う組織としてアブダビ国営石油 (Abu Dhabi National Oil Company : ADNOC) が担当していた。しかし、近年では同国の人口増加と経済発展によって、より多くのエネルギーが必要となり、これまでの石油・天然ガスに関する政策立案および実行だけでは追いつかなくなり、新たなエネルギー源の開拓が必要となってきている。2009 年に設立された Emirates National Energy Corporation (ENEC) が 2017 年から順次稼働開始予定で建設を進めている計 4 基で 5.6GW の原子力発電、2002 年に設立されたムバダラ開発 (Mubadala Development) が出資者となっている Abu Dhabi Future Energy Company (MASDAR) により 2013 年 3 月に稼働を開始した 100MW の太陽熱発電、2005 年に設立されたアブダビ国営エネルギー会社 (TAQA) により 2013 年 4 月にパイロットプラントが試験運転を始めた廃棄物発電 (100MW の電力を生み出す Waste to Energy 計画) など、さまざまなエネルギー源の開発が進んでいる。

しかし、これまでは国内のエネルギー源 (石油、天然ガス、原子力、再生可能エネルギー等) に対する政策が一元的に行われてきたかという点、国内の石油・天然ガスは ADNOC が、それ以外の国内エネルギー源ならびに海外における全てのエネルギー開発活動は Mubadala や TAQA を中心とする国営企業が行ってきており、全てのエネルギー源を一元的に政策管理する部署が必要になってきたものと考えられる。

また、国内・国外のエネルギー政策が組織によって分断されていたため、より効率的な投資を行う環境を整えるためにも一元管理できる部署が必要となってきたと考えられる。

### ② アブダビのエネルギー政策にはどのような変化が考えられるか？

今回の首長令に基づき、Nasser Ahmad Al Suwaidi 氏がエネルギー庁長官に指名された。同氏は、ADEC の Board Member であるとともに、アブダビ国営銀行 (National Bank of

Abu Dhabi : NBAD) の Chairman である。また、Mubadala Development や国際石油投資公社 (International Petroleum Investment Corp : IPIC) の取締役でもある。この他、Abu Dhabi Securities Exchange (ADX) や Economic Zones、Etihad Rail の要職にも就いている。

古くは、アブダビ投資庁 (Abu Dhabi Investment Authority : ADIA) での要職や ADNOC での Finance Director や Marketing Director を経験している。

そして何よりも肝心なのは、同氏は Mohammad 皇太子の側近とも言われていることである。

エネルギー庁と ADNOC との関係は明確になっていないのだが、2014 年 1 月に利権期限を迎えた ADCO 権益に関する外資導入等の案件に対しても、エネルギー庁は ADNOC にアドバイスしたり方向性を示したりする権限を持つのではないかとされている。ADNOC の石油・天然ガス政策に対する最終決定は Khalifa 首長を Chairman とする最高石油評議会 (Supreme Petroleum Council : SPC) に委ねられているのだが、エネルギー庁がどのようにかかわるようになるのか注目される。

Mohammad 皇太子は、アブダビ政府や UAE 政府の要職をこなすかわら、Mubadara Development の Chairman としてのビジネスにも関与しており、今後のアブダビのエネルギー政策は非常にアクティブでダイナミックなもの (国内の天然ガス供給不足解消のため、既に国営企業が海外で開発・生産を進めているプロジェクトの天然ガスをアブダビに持ってくる等) になるのではないかとと思われる。

そして、背景でも触れたが、官民・国内外・各種のエネルギー源にまたがり、セクショナリズムに陥らないエネルギー政策が展開されていくものと期待される。

### ③ ひとつの気がかり

3 月 21 日の MEES によると、Khalifa 首長は本年 1 月に心臓病の手術をされたとしており、2 月以降の動静は公表されていない。そして今回の組織改正は、ある意味で首長から皇太子への「継承の一策」ではないかと同誌は解説している。Khalifa 首長は 1987 年にも脳梗塞の手術を受けたとも言われており、健康面の問題を抱えているとされている。今後のアブダビのエネルギー政策あるいは国家政策全般を占ううえでも、Khalifa 首長の健康問題は重要なポイントとなるかもしれない。